



ひろば



支所前の花だん

令和6年10月30日発行

あの日を忘れない ～奄美豪雨災害の日～

校長 山 美奈子

私たちは、14年前の「奄美豪雨災害」を忘れず、この日のことを教訓に常に命を守る行動がとれるようにしておかなければならないと考えています。そこで今月は以下の取組を行いました。



1 避難訓練(10/16 2校時)

地震津波を想定しての避難訓練。垂直避難で図書室に避難しました。消防署の方から、避難する際に注意することなどについてご指導していただきました。また、「～にいるときに地震がきたらどのように対応するか」ということをテーマにワークショップを行いました。

2 「奄美豪雨災害の日」防災教室(10/17 1・2校時)

(1) 奄美豪雨災害について

住用支所の久保田貴美人地域教育課長が、当時の写真を提示しながら説明してくださいました。当時の雨量や急激に水かさが増していったことなど、ご自分の体験をもとに話してくださいました。

(2) 災害当時のラジオ局の役割について

あまみFMの麓憲吾さんによる講話では、災害当時情報がなかなか入らない状況の中、リスナーからの情報や行政と連携を取りながら、情報を届けていたことを話してくださいました。当時の貴重な映像や音声から、緊迫した状況を知ることができました。

(3) 体験者講話

14年前、公民館で勤務されていた山田千代子さんは「助けにいきたくても行けない苦しさ」を体験されました。どんなに苦しかったらうか、どんなに大変だったらうかと考えると胸が締め付けられる思いがしました。そして、普段から準備しておくことの大切さを伝え、実際に山田さんご自身の非常持ち出しリュックの中身をみんなに見せてくださいました。繰り返し起こる災害。日頃から災害に対しての心構えと準備が大事であることを改めて学びました。

今回の防災教室では、保護者や地域の方々にもご参加いただきました。これからも地域ぐるみで防災を考えていきたいと思えます。お忙しい中ご参加くださいました皆様へ感謝申し上げます。

愛された犬は来世で
風となりあなたの日々を何度も撫でる

木下 龍也

先日、十五年飼っていた愛犬が亡くなった。幼いころから病気がちで、何度も手術をしたり、毎日投薬したりしていた。自分の足で歩けなくなってきたから、車いすを使い、勝手に散歩をしていたが、住用に来てからは、車いすも使えなくなり、寝たきりの生活を送っていた。

愛犬を見送り、家に帰るといつも寝ていたベットが空っぽで、涙があふれた。あれがいけなかったのだろうか、もっとしてあげられることはなかったのだろうか、考えては後悔ばかりが胸を突く。そんなとき、文頭の短歌と出会った。「愛された犬は来世では風となつてあなたの日々を何度も撫でるのだよ。」と優しく語りかけられているような歌である。亡き愛犬の実体を探し続けて、悲しみにくれてばかりいた私にそっと寄り添ってくれるような優しい歌だ。

生きていくとたくさん命との別れを経験する。最愛の母、楽しみを分かち合った友、心の癒し拠り所であった愛犬。そのたびごとに命ははかなくもろいものであるということをしみじみと実感する。

子どもたちもこれから先、多くの命と出会いそして別れを経験することであろう。住用小では植物や動物の命を考える教育活動も多く行っているが、自分の命、そして自分以外の命も大事に思える人に育ってほしいと心から願う。

19年目の保護活動



10月9日(水)は、鹿児島県環境技術協会の米沢さん、鹿児島大学水産学部の久米准教授、ヤジ専門家の又野さんの助言と、住用総合支所職員、大島支庁担当職員、そして保護者の見守る中、今年度で19年目となるリュウキュウアユの保護活動(産卵地整地)を実施しました。子どもたちは、活動後の振り返りで、「卵を産みやすいように整地をがんばった。」「孵化した後もまたここに返ってきてほしい。」「来年の観察会でもたくさんのリュウキュウアユが見たい。」などの感想を發表しました。皆様のご支援により、今年も伝統をつなぐことができました。ありがとうございました。

避難訓練～地震から津波～



10月17日(木)は、地震後の津波を想定した避難訓練を実施しました。緊急地震速報(訓練用)を聞いた子どもたちは、すぐに机の下に隠れました。揺れが収まると、「おかしも」を守り、2階へ垂直避難しました。その後、消防隊員の方の話を聞いたり、グループ毎に話し合ったりして、命を守る方法について考えました。所長はじめ隊員の皆様、御指導ありがとうございました。

質の高い教育を目指して



10月17日(木)は、奄美市教育委員会の学校訪問がありました。協議や授業参観、掲示物等をとおして、豊富な体験活動や質の高い授業等、住用小学校の良さを伝えることができました。これからも「きらりかがやく住用っ子」のキャッチフレーズのもと、職員一丸となって取り組んでまいります。

あの日を忘れない



10月17日(木)は、3名の講師と地域の皆さんをお招きし、「奄美豪雨災害の日」防災教室を実施しました。奄美市住用総合支所地域教育課の久保田貴美人課長は当時の住用地区の様子等を、あまみエフエムの麓憲吾代表は島民からラジオ局に寄せられた各地の情報等を、主任児童委員の山田千代子さんは被災中の体験談をお伝えくださいました。当時の緊迫感あるエピソードや写真・映像に、児童も地域の皆様も聞き入っていました。私たちは、先の豪雨災害を忘れることなく、今後の減災へ生かしていきます。講師の皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

地域とともに花いっぱい活動



10月21日(月)は、地域とともに花いっぱい活動の一環で、西原老人クラブの皆さんと一緒に、総勢40名で奄美市住用総合支所前の花壇を耕したり苗を植えたりしました。国道を通行するドライバーの中には、減速し活動の様子を見ている方もいました。花が咲くと、さらに目を引くことでしょう。これからも住用の町を明るく元気にする活動を続けていきます。

【主な行事】①～④の行事にぜひお越しください。

- 11月 1日(金) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間(～7日)
- 11月 9日(土) 保・小・中合同「学習発表会」①
(8:50着席 9:00開演)
- 11月17日(日) PTA奉仕作業
- 11月24日(日) 保・小・中合同「運動会」 ②
(8:50開会式 9:20競技開始)
- 11月28日(火) 学校保健委員会、学級PTA、
人権講話「復帰運動」14:00 ③
- 12月 6日(金) 先輩授業(ANA社長 芝田浩二さん) ④

